

今から  
準備しよう  
!

# わが家の防災対策



## 分散避難を心がけよう!

災害のおそれがあるときに、これまでのようにたくさんの人が救援センターに集まると密の状態が発生し、新型コロナウイルスに感染する危険があります。また、救援センターで十分なソーシャルディスタンスを確保しようとする、収容可能人数が制限されるため、避難所に入ることができない場合もあります。これからは、救援センターへの避難だけではなく、複数の避難方法を視野に入れた「分散避難」を心がけましょう。

皆さんは新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた、防災対策はできていますか？あらかじめ、自宅周辺のリスクを把握し、救援センター以外に安全な場所を避難先として決めておくなど、今からできる備えを進めることが大切です。

図 防災危機管理課管理グループ ☎ 3981-2100

### 在宅避難

自宅が安全な場合は、**まずは自宅にとどまりましょう**



### 縁故避難

安全な場所に住んでいる親戚や知人など頼れる人がいれば、そこに避難することも考えましょう。



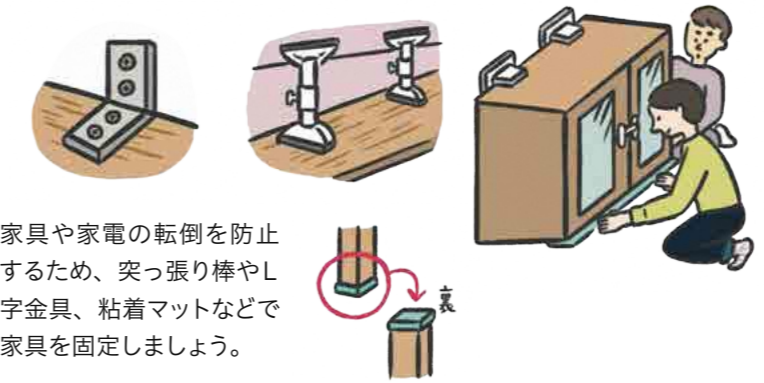
### 救援センター(避難所)へ避難



## 在宅避難をするためには？

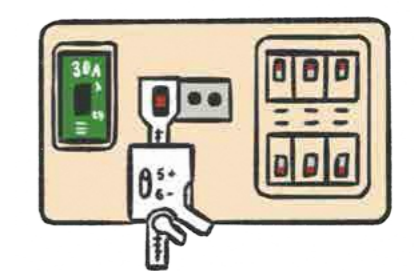
自宅が安全でなければ、在宅での避難はできません。そのために、自宅の安全を確保しましょう。

### 家具や家電の固定



家具や家電の転倒を防止するため、突っ張り棒やL字金具、粘着マットなどで家具を固定しましょう。

### 感震ブレーカーを設置



震災時の通電火災を防止するため、感震ブレーカーを設置しましょう。

### 備蓄のチェック

避難生活の長期化や物流の遅延などを考慮し、3~7日分の飲料水・食料などを備蓄しましょう。また、感染症対策も考慮し、マスク、手指消毒液、ビニール袋なども備蓄しましょう。



## 「危険」と判断したら迷わず救援センターへ

倒壊などにより自宅にとどまることが「危険」と判断したら、必要な物を持って迷わず最寄りの救援センターへ避難しましょう。

避難時に必要な物は、各家庭によって異なります。日頃から家族で防災について話し合っておきましょう。また、救援センターの運営は、避難者自らが協力して行います。災害時に備え、積極的に訓練に参加しましょう。

